

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
福祉心理学基盤演習 I	HSP11-008	必修	1	1	前期 (隔週)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
鈴木 真吾 他	B309	shsuzuki	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt;社会福祉学及び心理学の共通基盤であるコミュニケーションの基本を学び、自己開示・自己呈示という社会的コミュニケーションに必須の概念として、自己理解を深めることを目的とする。                      &lt;概要&gt;自己理解を深めるために、他者とのコミュニケーションに関する演習や自己理解ワークを用いた自己分析、成果に関するプレゼンテーションや討論などの演習を行う。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 (      )				
学習上の助言	自分らしさとは何かについて得る機会であることを意識しながら、楽しんで授業へ参加しましょう。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配布する。				
参考書	適宜紹介する。				
外部教材	なし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	社会福祉学及び心理学における自己理解の方法を説明することができる。			HSU (1) (5) HC (4) (6)	
②	社会福祉学及び心理学の基本的な知識を活かし、自分自身を理解することができる。			HSU (3) (6) HC (2) (3) (4)	
③	自分らしさを表現できるコミュニケーション力を身につけ、実践することができる。			HSU (3) (6) HC (2) (3) (4)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション 自己分析・自己理解①:「自分」心理学の学び・体験	講義・演習	配布資料をもとに体験を振り返り、整理を行う。	2	
2	自己分析・自己理解②:「社会」心理学の学び・体験	講義・演習	配布資料をもとに体験を振り返り、整理を行う。	2	
3	自己分析・自己理解③:「自分」を知る心理検査の体験	講義・演習	検査結果をもとに体験を振り返り、整理を行う。	3	
4	自己分析・自己理解④:「社会」的な自分を知る心理検査の体験	講義・演習	検査結果をもとに体験を振り返り、整理を行う。	3	
5	コミュニケーション①:「コミュニケーション」学の学び・体験	講義・演習	配布資料をもとに体験を振り返り、整理を行う。	4	
6	コミュニケーション②: 「コミュニケーション」を知る心理検査の体験	講義・演習	検査結果をもとに体験を振り返り、整理を行う。	4	
7	自分大公開①:自己分析に関する発表を行う。	演習・プレゼンテーション	口頭発表の準備、振り返りを行う。	6	
8	自分大公開②:自己分析に関する発表を行う。	演習・プレゼンテーション	口頭発表の準備、振り返りを行う。	6	
試					

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	60	10	0	30	
総合力指標	知識・技術力	0	20	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	5	0	0	15
	コミュニケーション力	0	10	5	0	10	25
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	20	30
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	心理検査など、授業中のレポート課題について、提示意図に沿った内容を記述できているか、課題テーマに応じた思考及び考察ができているか、相手に伝わる表現ができているかについて評価を行う。				各自が提出したレポートにコメントを付して返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	与えられたテーマ「自分大公開」に関して、的確に自己分析の内容を理解し、相手に分かりやすく伝えているかなど、発表スキルに関して評価する。				発表後に講評を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	各授業において実施する体験ワークや心理検査への取り組みや課題の提出状況に基づいて評価する。				ワークや課題はコメントを付して返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	前川 真奈美						
教員の実務経験	本科目の担当講師は、臨床心理士 and/or 公認心理師資格を有し、心理相談業務の経験がある。						
実践的授業の内容	心理相談業務の経験を通して、キャリア心理学に基づく自己分析の手法、心理査定法による本格的な心理検査を活用して、自らに誠実・正直な自己及びコミュニケーション様式を摸索できるよう学生を促す。						
そ の 他	Microsoft Teams を用いて諸事の連絡を行うので確認を怠らないこと。 全 8 回、隔週開講の構成だが、合間の時間割コマも教員による支援を提供するので、積極的に登校して気軽に支援を求めてほしい。 大学が公表している感染対策及び教員が示す授業方法を遵守すること。従わない場合は受講を認めない場合がある。なお、今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更が行われ得る。						